

5-2 大館西地域

(1) 地域の現況

地域の概要	
面積	55.14km ² 市全体の6%
人口	8,384人、市全体の11% ※2015(平成27)年 国勢調査
世帯数	2,933世帯、市全体の10% ※2015(平成27)年 国勢調査
15年間の人口増減	1,249人の減少(13%減) 2000(平成12)年9,633人から 2015(平成27)年8,384人へ ※国勢調査



地域を代表する主な施設等	
施設等	堆肥生産施設(コンポストセンター)、大館処理センター、二井田出張所、真中出張所
駅	下川沿駅(JR奥羽本線)
医療施設	西大館病院
学校	川口小学校、南小学校、下川沿中学校、南中学校、 県立大館桂桜高等学校
工業団地	二井田地区工業団地(県営大館工業団地、県営大館第二工業団地、市営二井田工業団地)
公園緑地	二ツ山総合公園、市民の森、二井田野球場
景観	片山風穴植生、出川の櫨、温泉寺、長瀬温泉

大館西地域は、市西部に位置し、西側が北秋田市等に隣接する地域です。面積は55.14km²で、市全体の6%を占めています。

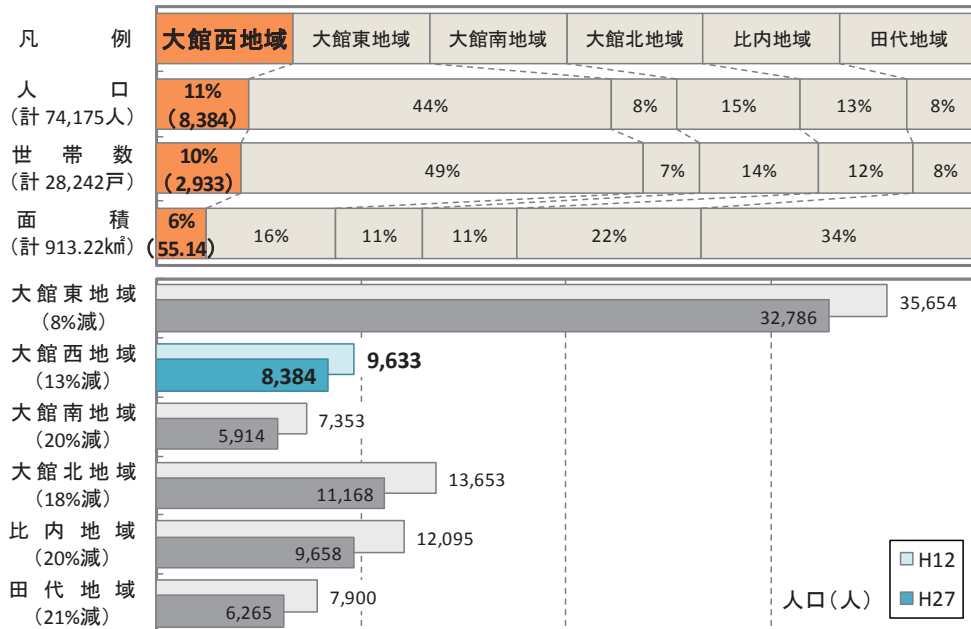
一級河川米代川が中央部を東から西に流れ、その支流である長木川と合流しています。北部・西南部は山地で、東南部の米代川沿いにまとまった平地が広がり、商業地や住宅地として利用されています。広大な田園地帯を有し、比内地域と隣接して二井田地区工業団地が立地しており、就業の場として機能しています。

【土地利用】

- 平地を中心に都市計画区域に指定され、東部の国道7号沿いが用途地域となっており、商業地や住宅地として利用されています。また、国道7号沿道では、用途地域外にも集落が形成されています。
- 工業団地として、二井田地区工業団地（県営大館工業団地、県営大館第二工業団地、市営二井田工業団地）が形成されています。
- 米代川沿いに広大な田園地帯が広がり、農業生産の場となっています。田園地帯の中に集落が点在しています。

【人口・世帯】

- 人口 8,384 人で本市の 11%、世帯数 2,933 世帯で本市の 10% を占めています。1 世帯当たりの人員は、2.9 人となっています。
- 2000（平成 12）年からの人口減少率は 13% であり、約 1,200 人減少しています。



資料：人口・世帯…2000（平成 12）年、2015（平成 27）年 国勢調査
 面積…2014（平成 26）年 10 月 1 日 GIS・国土の情報（全国都道府県市区町村の面積）
 ※端数の処理により、見かけ上の合計が 100% とならない場合があります。

【文化・風景・特産物】

- 市指定天然記念物である出川の櫛（けやき）や、忠犬ハチ公の生家等があります。歴史資源として、名所である安藤昌益の墓や小林多喜二生誕の地碑、錦神社等があり、訪れた史跡や名所についてその場で詳しく知ることができるシステム「どこでも博物館」の整備が進んでいます。
- 山地に囲まれた広大な田園地帯とそこに流れる米代川は、本市を代表する身近な風景となっています。
- 隣接する比内地域との間に達子森があり、地域固有の景観を形成しています。

【観光レクリエーション】

- J R 奥羽本線沿線に長瀬温泉が立地し、温泉保養施設として利用されています。

○二ツ山総合公園、市民の森や達子森スキー場、二井田運動場・野球場等の施設が立地しており、市民のレクリエーションの場として活用されています。

【主要公共施設】

- 比内地域に隣接して工業団地が整備され、企業等の立地も進んでいることから、就業の場として機能しています。
- 生ごみや家畜廃棄物等を利活用する堆肥生産施設（コンポストセンター）が立地し、環境循環型社会の一端を担っています。

【交通基盤】

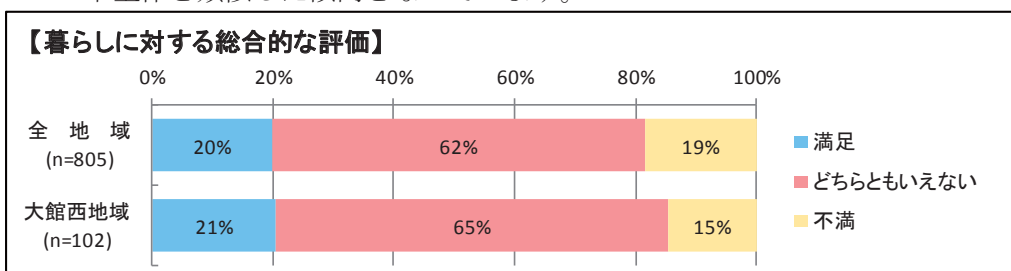
- JR奥羽本線が国道7号と並走しており、下川沿駅が立地しています。
- 本地域を横断する国道7号が主要幹線道路となっており、比内地域とを結ぶ幹線道路である（主）比内田代線、北秋田市や大館東地域の市街地とを結ぶ（一）大館鷹巣線等により道路網が形成されています。
- 日本海沿岸東北自動車道が整備され、二井田真中ICが供用開始し、高速交通の確保、周辺の企業進出・設備投資の後押しにも効果が期待されています。
- 大館能代空港ICの供用開始により国道7号の交通量が減少したことで、主要渋滞箇所として特定されていた立花交差点の特定解除が検討されています。
- 国道285号から二井田地区工業団地へ2.4kmのアクセス道路が整備され、地域の雇用を担う工業団地の有効活用が図られています。
- 板沢地区における（主）比内田代線の整備が完了し、安全性の向上が図られています。

【まちづくり活動】

- 川口・南小学校、下川沿・南中学校では、ふるさとキャリア教育の一環として、地域住民と協働したさつまいも栽培や立花ねぎのPR、地域交流ボランティア等の活動を行っています。
- 地域応援プランを活用し、農業やハチ公の故郷といった特色を活かした地域活性化の取り組みが行われています。

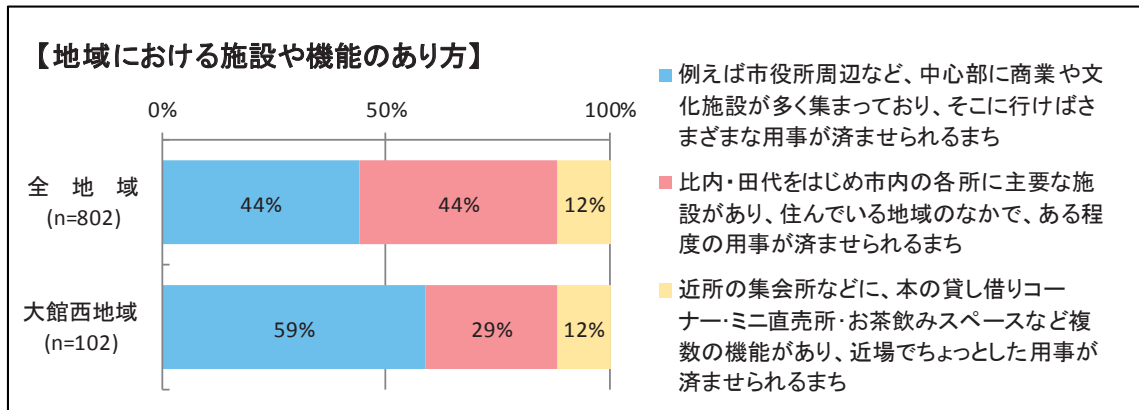
【市民アンケート】

- 市民アンケートのうち、全体の約12%が大館西地域（下川沿・真中・二井田）に居住している方の回答となっています。市全体の結果と比較し、大館西地域の回答の一部をとりまとめます。
- 大館西地域では、本市における総合的な暮らしやすさについて、「どちらともいえない」と回答した方の割合が約6割と最も多く、「満足」・「不満」がそれぞれ約2割と、市全体と類似した傾向となっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

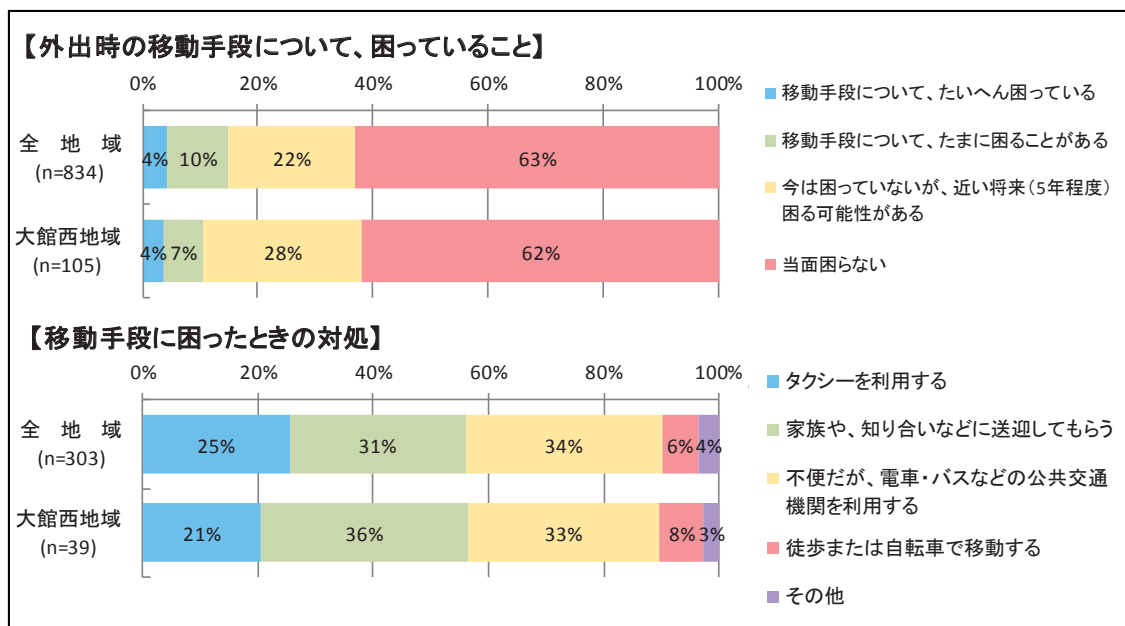
○地域における施設や機能のあり方について、「例えば市役所周辺等、中心部に商業や文化施設が多く集まっており、そこに行けばさまざまな用事が済ませられるまち」を目指したいと回答する方の割合が約6割となり、市全体と比較して高くなっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

○外出時の移動手段に困ることについて、移動手段に「当面困らない」が最も多く、市全体と比較して「近い将来（5年程度）困る可能性がある」と回答した方の割合がやや高くなっています。

○移動手段に困ったときは「家族や知り合いの送迎」・「公共交通機関を利用する」という回答がそれぞれ約3割で、市全体と類似した傾向となっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

(2) まちづくりの課題と方針

安藤昌益や小林多喜二といった偉人にゆかりのある地であり、広大な田園は本市における農業の生産基盤となっています。日本海沿岸東北自動車道が整備されたことで交通の利便性が高まり、二井田地区工業団地での産業のさらなる発展が期待されています。

市民ワークショップでは、工業団地で働く人を地域に呼び込みながら、実り豊かな田園、自然、数多くある神社や歴史的名所を保全・活用するという意見が挙げられました。

農業・工業の魅力を発信することで若者を呼び込み、地域のコミュニティをさらに活性化する地域づくりを進めていく必要があります。

これらを踏まえ、将来像を「農工基盤に若者が集まり、笑顔が生まれる地域～大館のよさを全国発信～」と掲げ、全体構想で定めた5つの柱のうち、地域に関連する4つの柱についてまちづくりに関する課題と方針をとりまとめます。

<大館西地域が目指す姿の概要>

現況・課題			
【土地利用】	【地域の力】	【資源】	【機能】
<ul style="list-style-type: none"> 工業団地の活用に期待。 田園地帯や自然景観の維持・保全が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 住まいが土砂災害危険区域に近接。 郊外部の集落における日常生活サービスの確保等が懸念。 	<ul style="list-style-type: none"> 点在する歴史資源の保全と活用、資源のネットワーク化が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各地区における暮らしやすさや生活環境の向上が求められる。

大館西地域 将来像

農工基盤に若者が集まり、笑顔が生まれる地域
～大館のよさを全国発信～

まちづくりの方針

1	土地利用がもっと充実する	農工業のさらなる発展を目指し、工業系用地や農地を維持しながら、計画的な土地利用を推進します。
2	もっと地域の力を活用する	土砂災害対策等により暮らしの安全性を確保しながら、住民と協働した地域づくりを推進します。
3	もっと資源をつなげる	豊富な歴史資源の保全・活用を目指し、環境整備や資源のネットワーク化を推進しながら、循環型農業の拠点づくりを行います。
4	もっと機能をつなげる	道路整備による交通利便性の維持・向上を図りながら、快適な生活環境を形成するための整備を推進し、安心して暮らせる環境づくりを進めます。

＜4つの柱に基づくまちづくりの課題と方針＞

1 土地利用がもっと充実する

【課題】 地域南部に立地する二井田地区工業団地は、就業の場として今後も大きく期待されます。

▶ 【方針】

○二井田地区工業団地については、医療機器・医薬品産業を中心に既存企業の事業拡大を推進しながら、工業系用地の適正な配置を図ります。

【課題】 広大な田園地帯は、将来の就業の場としても重要な役割を担うことから、稲作地帯の維持・保全が求められます。

▶ 【方針】

○農業施策等と連携しながら、昔ながらの景観に配慮した道路整備や適正な土地利用の誘導等を進め、豊かな田園地帯や農村景観の計画的な保全を図ります。
○農地法等の適切な運用のもとに、基盤整備事業や農業振興地域制度に基づきながら優良農地を確保していきます。

【課題】 ホテル等の生息の場ともなっている河川の恵みによって田園地帯が拓かれ、市を代表する農業生産地域となっていることから、自然景観や河川環境の維持・保全が求められます。

▶ 【方針】

○身近な風景として親しまれている米代川等をはじめとして、河川の恵みを活かした風土づくりを目指し、河川環境の保全と活用を図ります。

2 もっと地域の力を活用する

【課題】 老朽化が進む市民の森について、住民と協働した再生が必要とされています。

▶ 【方針】

○憩いや健康づくりの場としての機能を果たすため、市民の森における比内前田農業協同組合やトンボ公園における大館自然の会と、共同施設管理の取り組みを継続します。
○桜やトンボ観察等、市民の森の魅力を伝える情報発信を推進し、利用者の増加を目指します。

【課題】 郊外部等の農林業を支える地域は、地域コミュニティの維持や生活機能の確保等が困難になることが懸念されます。

▶ 【方針】

○農林業振興や景観・環境保全等の関係施策と連携するとともに、小さな拠点の形成について検討を進めます。

【課題】居住空間と土砂災害危険区域が近接している箇所があり、対策が求められます。

【方針】

- 県では2019（平成31）年度までに基礎調査を完了し、土砂災害警戒区域等の指定を進める予定であるため、安全な地域づくりを推進します。

【課題】ふるさとキャリア教育や市民ワークショップを通して、地域づくりについて考える気運が高まり、これらの取り組みを継続・活性化することが求められます。

【方針】

- ふるさとキャリア教育や地域応援プランによる地域づくりを継続し、子どもから高齢者まで、あらゆる年代・立場の人々の交流を推進します。
- 豊かな田園と、若者が多く働いている二井田地区工業団地を活かして、農業・工業の魅力を全国へ発信し、さらに若者を地域に呼び込むような地域づくりを推進します。

3 もっと資源をつなげる

【課題】安藤昌益や小林多喜二といった逸材とゆかりが深く、忠犬ハチ公の生誕した地域として、一里塚等、点在する歴史資源の保全・活用が求められます。

【方針】

- 豊富な歴史文化資源について、周辺の環境整備や時代に即したサイン等の整備や、他地域を含めた資源のネットワーク化を進めます。
- QRコード付きの案内板や標柱の設置に引き続き取り組みます。
- 地元を主体として、奥州藤原氏を縁とした平泉町等との交流支援等の推進を図ります。

【課題】大規模公園等、市民の憩いの場の形成が求められます。

【方針】

- 二ツ山総合公園の整備を推進し、大館冒険あそびプレーパーク等、子育てに関する拠点として活用を図ります。

【課題】環境と調和した持続可能な農業を推進し、農業の生産拡大が求められます。

【方針】

- 堆肥生産施設（コンポストセンター）を、農業振興に向けた循環型農業の拠点として活用します。

【課題】犀川や長木川・引欠川等の支川が合流し、さらに下流に狭窄部がある米代川について、水質管理や治水対策が求められます。

【方針】

- 国や県と連携しながら森林機能の維持を図り、河川の水質を守ります。

4 もっと機能をつなげる

【課題】日本海沿岸東北自動車道、二井田真中 I C の供用により、国道 7 号や二井田地区工業団地への（主）比内田代線の交通量が増加しています。

▶ 【方針】

○交通量が増加している（主）比内田代線について、狭あい部の拡幅整備を推進します。

【課題】地域内の各地区において、安全性や暮らしやすさの向上が求められます。

▶ 【方針】

○下川沿地区の国道 7 号沿いや農村集落等については、安全な歩行空間の確保や下水道の整備推進等により、生活環境の向上を図ります。

○川口・立花地区の下水道整備については、PPP/PFI 方式によるコスト削減を図るとともに、早期の整備完了を目指します。

【課題】市民ワークショップでは、公共交通のアクセス性の確保や、運転免許返納後の交通機関に関する意見が挙げられています。

▶ 【方針】

○商業施設や病院と連携したバス運行や、スクールバスの活用、学校と連携した利用促進策の実施等、産学官が連携した交通サービスの提供や公共交通利用促進策等に向けて取り組みます。

○運転免許を自主返納した高齢者を対象に、協賛店での割引やタクシー利用料金の割引等の優遇措置を継続するとともに、取り組みの周知、拡大に努めます。



写真 忠犬八子公の生家 八子公像

大館西地域のまちづくり方針

1 土地利用がもっと充実する

農工業のさらなる発展を目指し、工業系用地や農地を維持しながら、計画的な土地利用を推進します。

2 もっと地域の力を活用する

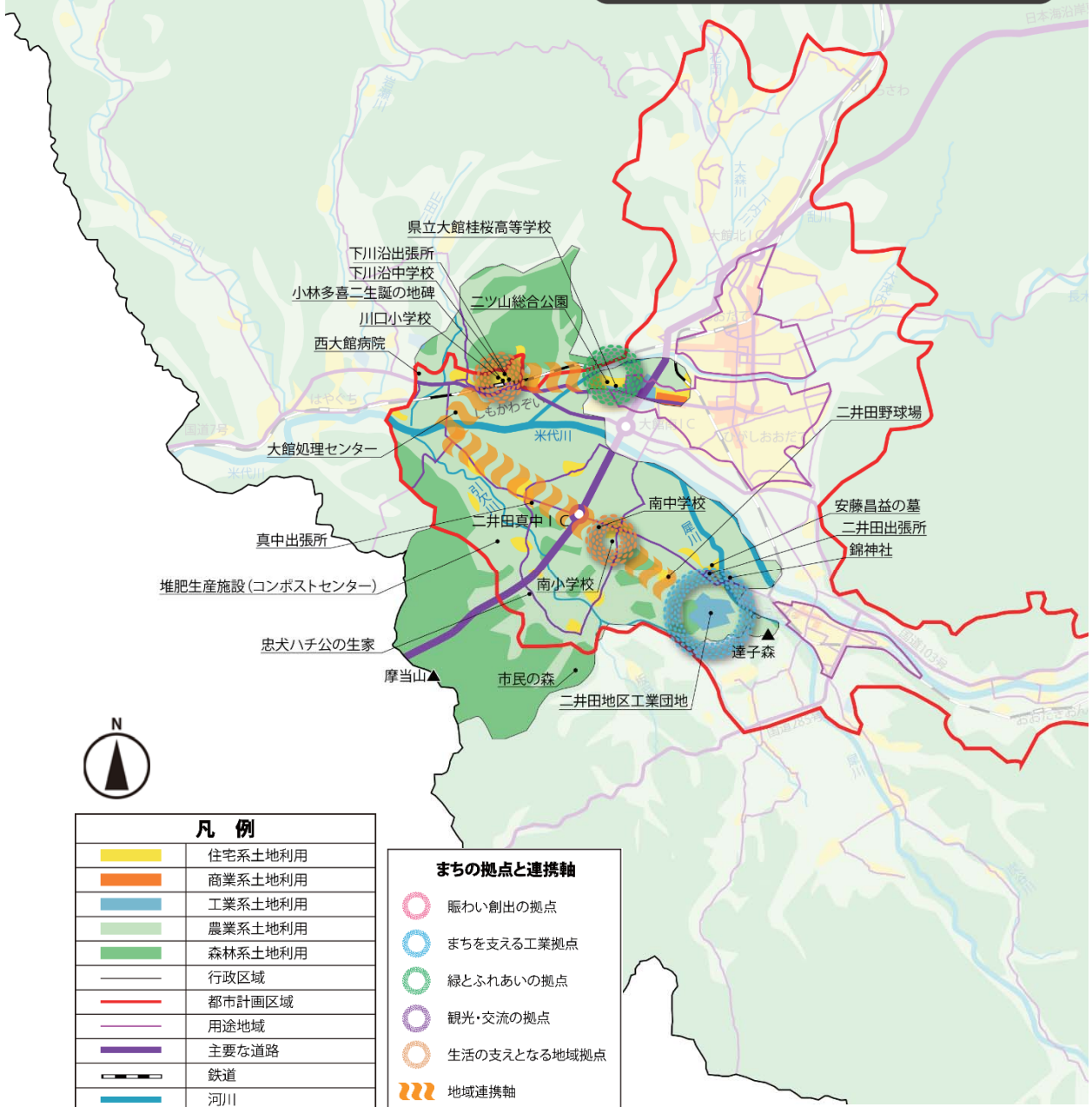
土砂災害対策等により暮らしの安全性を確保しながら、住民と協働した地域づくりを推進します。

3 もっと資源をつなげる

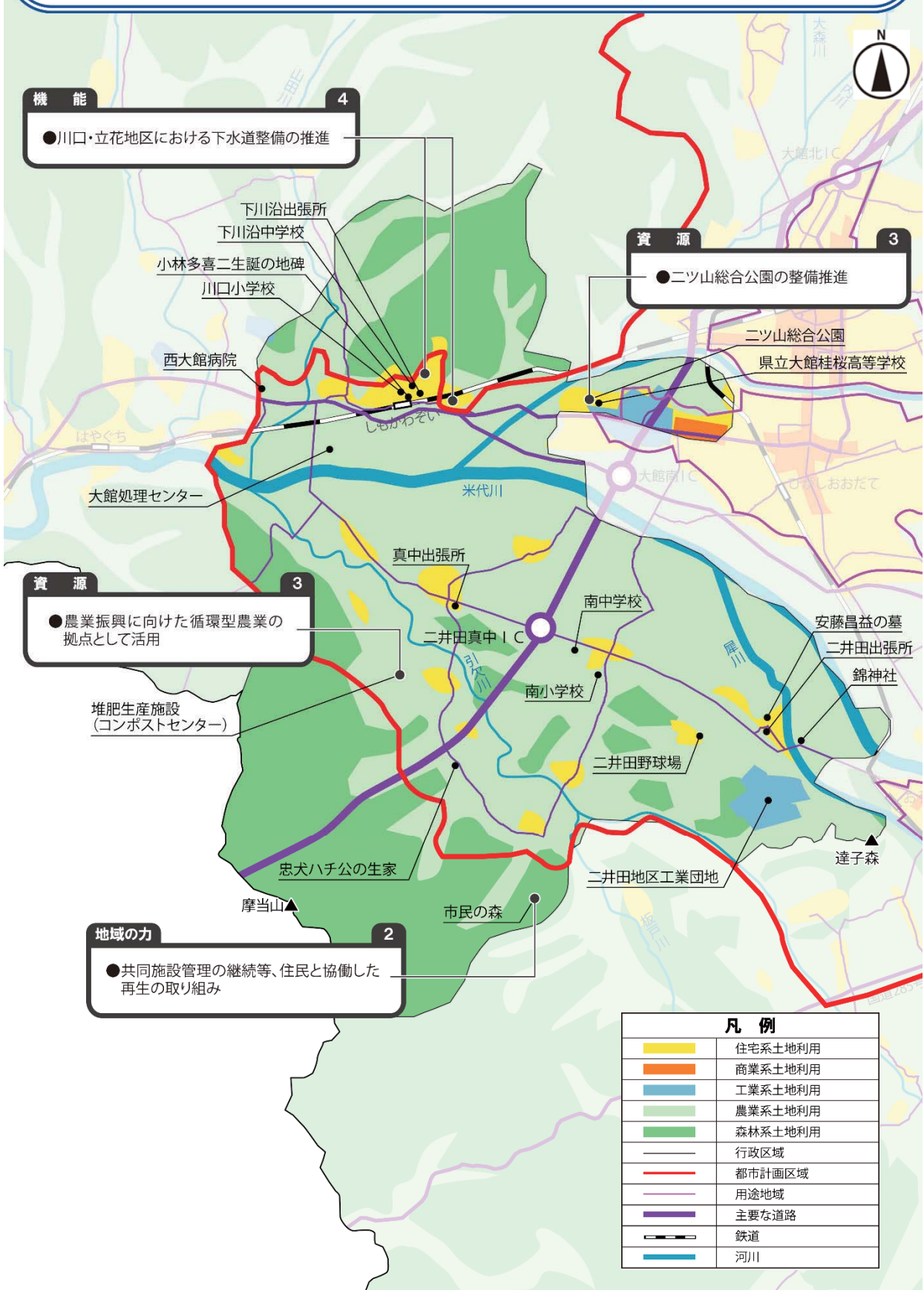
豊富な歴史資源の保全・活用を目指し、環境整備や資源のネットワーク化を推進しながら、循環型農業の拠点づくりを行います。

4 もっと機能をつなげる

道路整備による交通利便性の維持・向上を図りながら、快適な生活環境を形成するための整備を推進し、安心して暮らせる環境づくりを進めます。



大館西地域のまちづくり方針（拡大図）



コラム ～未来の日常をイメージしよう～

広大な田園地帯を有しており、二井田地区工業団地が立地し、たくさんの歴史資源に恵まれた大館西地域では、10年後にどのような暮らしをしているのでしょうか？

市民ワークショップで得られた意見を踏まえながら考えてみましょう。

- ・地域の特色を活かしながら、連携した地域づくりを盛り上げていきたい
- ・農業、工業の魅力を発信することで、若者を全国から呼び込みたい
- ・若者が集まり、子どももお年寄りもみんなが笑顔で暮らせる地域にしたい

「**二井田・真中・下川沿それぞれに地域ごとの特色を出した拠点づくり**」が
実現できた未来における日常を、具体的にイメージします。

○地域全体で農業を活性化！

- ・農業の魅力をインターネット等で発信することにより、農業に興味を持つ若者からの注目が集まり、農業体験等も盛んになっている。
- ・大館南小学校の「さつまいも夢プロジェクト」のように、色々な農作物の収穫を小学校と地域が一緒に行うことで、子どもと農業の結びつきがさらに強くなっている。

○二井田地区工業団地と連携！

- ・工業団地の働き手や企業とともに地域をPRしたり、一緒にお祭りを行ったり、交流が生まれることで地域が活性化している。
- ・採れ立ての野菜の直売所を工業団地や羽州街道に出店し、新鮮な農作物のおいしさが口コミで広がり、人気を博している。

○子どもや若者が未来を描ける地域づくり！

- ・子どもたちが地元の企業から話を聞き、見学や体験できる機会がたくさんあり、地域で働くことについて具体的にイメージすることができる。
- ・地域を離れた若者も何らかの形で大館に関わり続け、将来的には戻ってきて、やりたいことを実現させるような未来を描くことができる。

○安心して暮らせる場づくり！

- ・子どもから高齢者まで誰もが集まることができる場所があり、困ったときの相談等、ゆっくり話せる雰囲気がつくられている。
- ・グループホームのように、町内で暮らしを支え合える場があり、安心して生活することができている。
- ・運転免許返納後も、割引等の制度を利用し、バスやタクシーによって自由に移動することができている。

○地域の宝物がさらに輝く！

- ・QRコード付きの案内板等の整備が進んだことで、歴史資源を巡る観光客が訪れ、地域ぐるみの交流が生まれている。
- ・ニツ山総合公園は子どもも大人も楽しめる場として賑わい、大館冒険あそびプレーパーク等の催しが定期的に開催されている。